

追悼
七人委員会と辻井喬さん

小沼通二(こぬまみちじ)

2013年11月30日

世界平和アピール七人委員会長崎講演会にて



辻井喬(1927～2013)

- 2010年9月6日～2013年11月25日
世界平和アピール七人委員会委員

辻井さんの発言

- 2010年11月10日 講演会「武力によらない平和を」(東京)
辻井「東アジアの平和構築」
- 2011年7月11日 記者会見「原発に未来はない」(東京、
日本外国人特派員協会)
- 2012年11月10日 講演会「福島の人びとと共に」(南相馬市)
辻井「①中央集権の時代から地方自治の重視へ
②復興ではなく新しい日本の建設へ ③「災いを転じて福となす」は
日本文化の思想方向」

七人委員会における辻井語録

- 日本は、軍事力を行使しないと宣言した唯一の経済大国。憲法九条は世界の宝。堂々と世界にこの宝を広げよう。
- 原発事故のあと、地方自治体の長は中央に比べて有能だった。政府は支持低下をどうするかしか考えていない。中央集権の時代から地方自治の重視へ。
- 原発事故については、日本人と日本政府は、世界に対して責任をとらなければならない。
- 日本人の大多数は、(経済を重視する)GDPの数字より、幸福を自分の手に握りたいと思っている。
- 「災いを転じて福」となし、新しい国家に作り替えるチャンスだ

寸描

- 多忙な中で熱心に出席。
- 穏やかで、的確な指摘。
- 日本中国文化交流協会会長として、福島講演会の直後も含めて、困難な日中関係の中で、繰り返し訪中。
- 福島講演会の前日、福島市で「原発事故を考える画文と短歌の二人展」(貝原浩「風しもの村」、佐藤祐禎「青白き光」)を見た。
- 入院中の病院からも七人委員会に電話。
- 来年(2014年)には、委員会に出席を希望。

心から ご冥福を
お祈りします

世界平和アピール七人委員会一同